

自動車整備・カーボディマスター科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科 (3年次)			2024年度 授業計画		
時 期	3年前期	単元	実習	教科名	溶接
科 目	車わく及び車体の整備作業	教科書等 持参品	日産 1 級車体士	発行日	2024年3月11日
			日産 2 級車体士		
総時限	41時限		日産 3 級車体士	教科 担当	上谷 晃一
必須時限	39時限		濱村 和樹		
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
車体整備士として板金、塗装全般の実務経験がある教員により溶接全般の構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
<ul style="list-style-type: none">・各種溶接の原理、特長とその溶接作業の基礎を理解する。・酸素・アセチレンガス溶接作業について理解する。・電気アーク溶接について理解する。・電気抵抗スポット溶接について理解する。・ガス・シールドアーク溶接について理解する。・ドリルの取り扱いと研磨について理解する。					
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来ようになるのか)					
<ul style="list-style-type: none">・各種溶接の原理と特長を説明できる。・ドリルの取り扱いと特長を説明できる。					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
<ul style="list-style-type: none">・酸素・アセチレンガス溶接機の操作手順について理解する。・パネル突合せ溶接法を理解する。・酸素・アセチレンガスによる絞り作業手順を理解する。・酸素・アセチレンガスによるガス切断方法を理解する。・溶接欠陥を理解する。・電気抵抗スポット溶接機の操作手順を理解する。・ドリルの研磨と取り扱い方法を理解する。・アルミニウムの溶接法を理解する。					
5. 準備学習					
<ul style="list-style-type: none">・過去 2 年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと					

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科(3年次)

2024年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	溶接
5. 授業概要(時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類
時限	主な授業内容				資料、備品類 数量
1	溶接機の安全と基礎知識。溶接機の点検、整備の実施。				・酸素アセチレンガス 9
2	酸素・アセチレンガスの操作手順。溶接法(メルティングプールの作り方)				・ガス溶接作業台
3	飛石法による突合せ溶接。				・ガス溶接トーチ
4	〃				・ライター
5	〃				・ガス溶接用めがね
6	〃 作品提出				・皮保護具
7	溶棒を使ったメルティングプールづくり。				・簡易マスク
8	〃				・溶接棒
9	溶棒を使った突合せ溶接。				・イス
10	溶棒無しでの三角柱づくり。				・平板30×300mm×0.8t 3000枚
11	〃				・木ハンマー
12	〃				・ガス漏れチェックプレー
13	〃				・やっここ
14	〃 底板の溶接。				・MIG溶接機 9
15	〃				・溶接ワイヤ
16	〃				・モンキーレンチ
17	〃				・ニッパー
18	〃 作品提出				・スパッタ保護スプレー
19	ガス・シールドアーク溶接。点溶接の練習。				・マイトン
20	点溶接による突合せ溶接。				・マイトン用砥石
21	突合せ溶接。				・エアドリル
22	MIG溶接による三角柱づくり。グラインダーによる切削。				・スポットカッター
23	〃 水密検査含む				・スポットカッター研磨機
24	〃				・ベルトサンダー
25	〃				・ベルトサンダー用ベルト
26	〃				・エアソー
27	プラグ溶接。				・スポット溶接機
28	〃				・サイドシルアウター 2本
29	スポット溶接機の使い方。				
30	ドリルを使ったスポット溶接剥離。プラグ溶接による修復。				
31	〃				
32	〃				
33	エアソーを使ったサイドシルアウターのカット作業。				
34	シルアウターの突合せ溶接。ベルトサンダーによる仕上げ。				
35	〃				
36	〃				
37	〃				
38	〃				
39	〃				
40	〃				

